

日本食肉加工情報

毎月1回発行

3

2021 MAR.

No.849

◎特集 1

食肉需給の動向について

◎特集 2

HACCPの制度化に対応した衛生管理の 取り組み状況に関するアンケート調査結果について

◎窓

第64回 高崎ウイナー株式会社
代表取締役 真下 紀明氏「継続は力なり」

◎業界をめぐる動き

- ・「第42回食品産業優良企業等表彰」について
- ・日本畜産物輸出促進協議会食肉加工品輸出部会の設立総会の開催について
- ・令和2年度JAS品質管理責任者等専門講習会開催
- ・支部だより～北海道支部だより～
- ・関係省庁からの情報提供などについて（会員組合員宛配信情報）
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #67

◎ひろば

第62回 株式会社桑原ハム



SPECIAL
EDITION

特集 1

食肉需給の動向について

内容をちょっと読み



岡崎 崇 農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課食肉需給班

1. 食肉需給の概要

(1) 食肉消費量の推移

我が国における1人当たりの食肉消費量は、昭和35年以降、日本人の食事内容が西洋化したことなどにより、平成10年頃まで大きく増加した。その後は、食生活の西洋化の定着、少子高齢化の進展等が相まって、おおむね横ばいで推移してきたが、近年の好景気等を背景に、焼肉や牛丼、ハンバーガー等の外食を中心に食肉全体の消費量は一層拡大しており、令和元年度には、牛肉6.5kg、豚肉12.8kg、鶏肉13.9kg

となり、合計では過去最高の33.2kgとなった。

特に豚肉は、価格が牛肉と比べて安価であることに加え、調理や加工向けの用途が豊富であることなどから、1人当たりの消費量も牛肉・鶏肉と比べて高い水準で推移してきた。平成に入る頃には、豚肉消費量の伸びは横ばいとなったものの、平成10年代には、国内外での牛海綿状脳症(BSE)の発生や、タイ・中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、牛肉・鶏肉からの代替需要が生じ、再び増加傾向となった。

続きは定期購読で！

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp